入院診療計画書

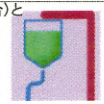
やわたメディカルセンター

PCIスタンバイ 入院日：　　年　　月　　日　病棟：　　号室　西暦　　年　　月　　日

病名・症状：　パス名：　担当医：　　印　看護師：

担当看護師：　担当薬剤師：　担当栄養士：　西暦　　年　　月　　日

総合的機能評価：　患者様・ご家族様サイン

期間	No	未定	未定	未定	未定
経過		検査日（検査前）	治療日（治療後）	治療翌日	退院日
看護計画	P	#1 非効果的行動計画リスク状態	#2 心臓組織循環減少リスク状態 #3 ヨード造影剤有害作用リスク状態 #4 出血リスク状態 #5 急性疼痛 #6 非効果的末梢組織循環 ＜大腿アプローチの場合＞ #7 静脈血栓塞栓リスク状態 #8 身体損傷リスク状態	#9 ヘルスリテラシー促進準備状態 #4 出血リスク状態 #6 非効果的末梢組織循環 ＜大腿アプローチの場合＞ #7 静脈血栓塞栓リスク状態 #8 身体損傷リスク状態	#9 ヘルスリテラシー促進準備状態
アウトカム	P	オリエンテーションが理解でき、不安なく検査が受けられる ※気がかりなことがありましたら遠慮なくお聞きください	・出血や痛み、気分不快などがあればナースコールすることができる ・水分摂取の必要性がわかる ・安静を守ることができる	・生活習慣の改善に取り組むことができる	・入院予定期間で退院できる
活動・安静度	P	・病院内自由です （症状によって制限されることもあります）  ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 冠動脈の造影の結果によって、 継続して治療を進める場合があります 必要時、造影検査室で医師から説明します ご不明な点は遠慮なくお尋ねください ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	【手首/肘からの場合】 ・検査後1時間以内…室内でお過ごしください ・検査後1時間…病棟内をご自由に歩いても結構です 【手首の固定帯について】 ・最初の2時間までは1時間毎に少しずつ空気を抜いていきます 【肘の固定帯について】 ・最初の2時間までは1時間毎に少しずつ空気を抜いていきます 【冠動脈の造影検査で終了した場合】 ・帰室時3時間後に外します 【冠動脈の治療をした場合】 ・翌朝まで固定します ※空気を抜く途中で出血があれば、空気の入れ直しをします ※検査した手首や肘は絶対に曲げたり物を持ったりしないでください 【大腿部の場合】 ・治療後から翌朝までベッド上で安静に過ごしていただきます ・帰室直後から6時間経つまでは、仰向けのままで足を動かすことができません ・検査後1時間…空気を少し抜きます ・寝返りは看護師が手伝いますので、自分でしないようにしてください ・6時間後からベッドを45度まで起こしたり少し膝を曲げることも可能です 寝返り可能です ※検査の状態によって安静時間が変更となる場合があります ※安静が保てない場合は下肢の動かないように固定する事もあります （別途、抑制同意書にて承諾をいただます）	＜手首と肘の場合＞ ・看護師が固定帯を外します ☆穿刺部からの出血があった場合は、 止血固定を延長する場合があります ＜大腿部の場合＞ ・朝食はベッドの挙上を60度まで可能です ・朝の診察時に、医師が 圧迫止血帯を外します ☆止血帯が外れるまで、 座ったり、歩いたりできません ・安静終了後に病院内自由です （症状によって制限されることもあります） 	・病院内自由です （症状によって制限されることもあります）
治療・処置	P	・治療を行う部位の毛剃り（大腿部からの場合）と マーキングを行います ・検査衣に着替えます ・指輪・時計・義歯などは外してください ・大腿部からの検査の時は 検査用パンツを着用してください ・点滴を行います ・深部静脈血栓予防のために両下肢に包帯を巻きます 	【冠動脈の造影検査で終了した場合】 ・血圧など症状の観察は 帰室時から2時間後までは必ずチェックします 【冠動脈の治療をした場合】 ・血圧など症状の観察は 帰室時から3時間後までは必ずチェックします ☆その後も適宜、観察していきますが、 『胸が痛い』『胸がつらい』『息がしにくい』『気持ち悪い』 などの症状がありましたらすぐにお知らせください	・心電図モニターを看護師が外します ・睡眠時無呼吸の簡易検査を行ったことがない場合は 行う事があります	
検査	P	・検査の時間は『午後　　時ごろ』です ・1階の血管造影室で行います ・検査室には看護師と一緒に車椅子 もしくはベッドで移動します ・入院時、必要な検査を行います	【冠動脈の造影検査で終了した場合】 ・心電図検査は胸部症状があった時に施行します 【冠動脈の治療をした場合】 ・帰室前に生理検査室で心電図検査があります ・心電図モニター監視を帰室時から開始します	【冠動脈の治療をした場合】 ・12誘導心電図の検査をします ・医師の診察後に心電図モニターを外します	
リハビリ	P			・心臓リハビリテーションがあります（治療になった場合）	
説明・指導・栄養・服薬	P	・入院、検査について説明があります。 ・大腿部（足の付け根）からの検査の時は 検査用のパンツの購入をお願いします （1階の売店にあります）  ・服薬指導があります ・糖尿病薬を内服している方は中止する場合があります ・特別な栄養管理の必要性（ 有 ・ 無 ）	・治療した部位からの出血や、 痛みが強くなった場合は直ぐにお知らせください ・主治医より治療後に説明があります ☆退院後の生活、仕事などについてご不明な ことがありましたら、この時にお聞きください ・主治医の説明後、再発予防のため生活習慣アンケートを記入してもらいます	・アンケートを参考にして心臓病・動脈硬化について 看護師から説明させていただきます	
食事	P	・昼食以降は水分を摂ることができません	・水分は病室に戻ってからすぐ摂ることができます ※検査は『造影剤』を使用します 体から早く出すためにも、水分は多く取ってください ・夕食は帰室1時間後から摂ることができます 	＜大腿部の場合＞ ・圧迫止血帯が外れれば座って 食べることができます 	
排泄	P	・おしっこの管を入れる場合があります ☆大腿部からの場合は必ず入れます ・トイレでできます	・トイレに行きたい時は 必ず看護師にお知らせください 	＜大腿部の場合＞ ・トイレでできます 	
清潔	P	・治療前までは入浴できます （症状、状態によっては入ることができません） ・入浴できます	・治療後は入浴できません	・治療翌日の入浴はシャワーのみ可能です ・それ以降は入浴可能です 	
対症指示	P	・胸部痛、胸部不快感があるときはナースコールでお知らせください	・眠れないとき、痛みがあるとき、吐気があるときは ナースコールでお知らせください		